

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		子育て広場推進事業						予算事業名		子育て広場推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				03	02	04	2101	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分		主要事業					
		1-3安心して子育てできる児童福祉の充実（児童福祉）														
		①地域と協働した子育て環境の充実							担当課係等		子ども福祉課					
3協働による子育て支援の充実							子育て支援係									
事業期間		継続（平成24年度～ 年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
子育て中の保護者の孤立感を解消する。								子育て支援隊は，公民館で実施していた子育て講座から子育て中の保護者の気持ちを理解するようになり，その後，地域コミュニティ等において事業を実施。駅前分庁舎に次世代育成ルームができたことにより，当施設において事業を実施している。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
児童やその保護者へ集いの場を提供するため，事業実施団体に対して子育て広場推進事業補助金を支給し，駅前子ども広場を運営する。 子育て広場開設日：月曜～土曜日（10：00～16：00） 事業実施団体：子育て支援隊								児童およびその保護者								
								【事業をとりまく環境の変化】 子育て支援センターとの棲み分けができていないとの意見もあるが，当事業は登録制ではなく気軽に利用できるといった点が子育て支援センター事業と異なる点である。 また，未就学児に限らず，就学児においても「駅前子ども寺子屋」の企画を実施するなど，遊ぶ場所を広く提供している。								
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】								
駅前子ども広場運営 ・子育て支援に関する情報を提供する。 ・保護者へ育児相談に応じる。 ・イベントを企画し，子ども同士や保護者同士の交流を図る。				駅前子ども広場運営 ・子育て支援に関する情報を提供する。 ・保護者へ育児相談に応じる。 ・イベントを企画し，子ども同士や保護者同士の交流を図る。				駅前子ども広場運営 ・子育て支援に関する情報を提供する。 ・保護者へ育児相談に応じる。 ・イベントを企画し，子ども同士や保護者同士の交流を図る。								
■事業費																
				H30年度		R01年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	888	950									
歳入計（千円）				888		950										
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）										
	19 負担金補助及び交付金			888		950										
歳出計（千円）（A）				888		950										
伸び率（％）						6.98										
備考	総合計画 57ページ 予算書 93ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	年間開催日数	日	目標	300.00	290.00	290.00
			実績	294.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	来館者数（児童）	人	目標	2,259.00	2,300.00	2,300.00
			実績	2,262.00	0.00	0.00
	来館者数（保護者）	人	目標	1,856.00	1,700.00	1,700.00
			実績	1,668.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	1日当たりの平均利用件数は5.7組であり、定期的な利用者はいる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	補助金による事業費補助は妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	補助金による事業費補助は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	補助金による事業費補助は妥当である。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
児童やその保護者へ集いの場を提供し、育児相談や異年齢児の交流の場としての役割は果たしているものの、どの程度のニーズがあるのか、またそのニーズに応えられているのかの判断が困難である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市役所新庁舎が開庁する令和2年以降、補助金の存廃を含め、「次世代育成ルーム」を今後どのようにしていくかを検討していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 子育て支援センターと子育て広場の役割を整理する必要がある。それぞれの強みを活かした展開ができるよう事業を見直す時期にきている。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	